



うたがうら しょうがっこう
歌浦小学校

ぶらっセル にほんじん がっこう ほしゅうこう
ブラッセル日本人学校補習校 26号

歌浦っ子・ベゴニア通信



「冬時間」に突入、日本との時差は8時間に！

文責 ブラッセル日本人学校補習校
校長 佐藤 博

11月に入りましたが、にほんはまだまだ暑い日が続いているみたいですね。こちらでも YouTube で日本のニュースを見ることができるのですが、11月に入っても「夏日」を記録したなどの情報も聞いています。ずいぶん前から「地球温暖化」とは言われていましたが、何かここ最近、現実のものになってきたような気がしてちょっぴり怖い気もしています。ただここベルギーは、すでに朝は10℃以下、秋を乗り越してあっという間に冬になった感じです。

さて、そんなベルギーですが、10月29日(日)にとうとう「冬時間」に突入しました。・・・と言われても、日本に住んでいると、まずこの「冬時間」が何のことかわからないと思います。実はベルギーだけでなくヨーロッパすべての国が10月最終日曜日の真夜中である午前2時から冬時間に入ります。これは時間を1時間ずらすというもので、右の写真からもわかるように夜中の2時59分、もうすぐ3時・・・と思っていたのがその数秒後にはぴっと針が1時間戻って、夜中の2時になってしまうというものです。この冬時間になれば、今までは朝の8時に登校していた日本人学校の子どもたちも、実際は9時に登校ということになります。ベルギーの冬は夜が非常に短くて、朝の8時といっても曇り空だったらまだ暗いという日が多かったのですが、冬時間で1時間ずれたおかげで明るい時間で登校できるようになりました。ただそうはいってもベルギーの冬はなかなか手ごわいです。冬時間になっても、もうしばらくするとさらに昼の時間は短くなり、登校する時刻の8時や下校する時刻の16時はもう真っ暗・・・という日も珍しくありません。以前お伝えしたように夏は夜10時過ぎても明るい分、冬の16時にはもう夜、なんていうことが起きてしまうのです。この国に来た時に多くの方から「ベルギーの冬はつらいよ」といわれていた理由もこういうところにあるようです。

とはいえ楽しみもたくさんあります。昨年この通信で紹介したように、ベルギーの町のイルミネーションは本当にきれいです。特にグランプラスやその周辺のクリスマスイルミネーションは本当に素晴らしいです。暗くて長い冬ですが、自分の気持ちの持ち方次第で楽しみはいくらでも見つかるような気がします。「暗い」「寒い」・・・なんてマイナスのことばかりに目を向けてちゃダメ！楽しいことを自分で見つけて、ベルギーの冬を思いっきり楽しもうと思います。みなさんもぜひ楽しみは自分で見つけてくださいね。



『マロニエ祭』大盛り上がりでした(´▽`)

約1か月も前の話で申し訳ありませんが、ブラッセル日本人学校 PTA 主催のお祭り「マロニエ祭」が、10月1日(日)に実施されました。今年は完全にコロナ禍前に戻し、フードトラックも学校に来てくれて大賑わいで開催することができました。ちなみにフードトラックでは、日本人向けに「お好み焼き」と「たい焼き・お菓子」、そして「フリッツ」を売ってくれました。このフリッツとは日本で言うフライドポテトのこと、ベルギーのフリッツは日本のフライドポテトより大きく食べ応えも十分、また味は塩だけでなくケチャップやマヨネーズ、サムライソース(辛めのマスタードみたいな味)などいろいろあります。ブリュッセルの町のいたるところにフリッツ屋があり、このマロニエ祭でもわざわざ学校に来てくれて大賑わいでした。

さて、マロニエ祭はこのフードトラックだけではありません。各教室は様々なブースに大変身。いろいろな体験ができたり様々なものが買えたりします。なかなか手に入らない日本の「古本市」は大人気！また玄関ホールや体育館はコンサート会場となり、ピアノ演奏やギター、チェロ演奏、歌を披露する人もいました。日本文化を紹介するブースも多く、今年は空手や剣道だけでなく、「小唄」に挑戦する補習校の子もいてビックリ！とても上手で体育館も笑顔であふれていましたよ。もちろんイベント好きの校長先生も黙ってはいられません。今年は歌浦小で以前披露した「座布団回し」と、パフィーの「愛のしるし」のダンスに挑戦しました。祭りの最後は体育館で盆踊りでの総踊り、ここベルギーで貴重な日本ならではの体験を楽しむことができました。

